



学校ホームページ

笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

トリプル AAA の学校づくりを振り返って（児童・教員・保護者アンケートから）

学校自己評価結果のまとめ

1 「笑顔あかるく」

（1）「分かった!」「学習が楽しい!」の思いがあふれる授業をします

（2）知的好奇心を高め、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と夢中になれる活動をします。

教員間で相互に授業を見合ったり、三重大と連携したりしながら、学びあう中で楽しい授業づくりを行ってきました。今年度は、コロナ禍ということもあり、三重大との連携事業が、10月以降となり十分な交流はできていませんでしたが、数学教育・家政教育（ミシン）・情報教育（パソコン）コースなどの学習サポートとして教育学部の学生さんが多数来てくれました。児童アンケートでは、「楽しく学習していますか」の問いに、97%の児童が、肯定的な回答をしています。今後も、教員の授業改善と、児童の学習環境の改善に努めてまいります。



パソコン支援（1年）

（3）互いに尊敬し、子ども同士や子どもと教師の「絆」を深めます。

（4）「ありがとう」の言葉があふれる学校にします。

「みんなのいいところを見つけていますか」の項目には、92%の児童が、肯定的な回答をしていますが、「あまりそう思わない」と回答する児童も8%います。今年度は、コロナ禍での人権の授業も多く行い、学校生活の中で、互いの良さを知り、温かい繋がりができるよう取り組んできました。今後も、互いの人権を尊重し、「ありがとう」の言葉があふれる学校を築いていきます。



原田朋記さんの講演（6年）

（5）元気な挨拶の声があふれる学校にします。

「みんなに挨拶をしていますか」は、96%の児童が、肯定的な回答をしています。ご家庭でも、挨拶や礼儀の大切さを指導していただいていますし（94%）地域の方々からも、よくあいさつをしているとうれしい回答もいただいています。これからも気持ちのいい挨拶のできる児童を育ててまいります。

（6）白塚に誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。

郷土を愛する心を育てることは、自尊感情を育てること、自分の自信を育てることにつながります。今年度は、コロナ禍により、行事の中止・縮小をしなければなりませんでしたが、自治会行事も取りやめとなるものもあり、なかなか地域で学ぶことができませんでしたが、「米づくり体験」（5年）「浜清掃」（全校）「認知症キッズサ



稲刈り体験（5年）

ポーター養成講座」(4年)など、多くの地域の方にご協力いただき、地域の皆さんと共に、実体験をさせていただくことができました。ありがとうございます。特に今年度は、浜清掃20年の取り組みが認められ、国土交通大臣表彰を受賞することができました。地域と共に取り組んだことが実をむすんでいます。

2 「心あったか」

(1) 失敗があたたく受け入れられ、できたときにほめてもらえる、そういう学級・学校にします。

(2) 互いのいいところに気付かせ、ほめ合えるような仲間づくりに努めます。

(3) 子どもたちに対する教師のはげましなどの声かけを大切にします。

(4) 心が温くなるような挨拶をしていきます。

「先生や友達にほめられたことがある」「心があったかい学級・学校」と答えた児童は95%と、昨年度より大きく伸びています。(昨年度90%)互いによいところを見つけたり温かい言葉があふれたりする取り組みの成果が出てきています。互いに尊重し合う温かい学級づくりが、学校の基礎となつてこそ、さまざまな取り組みの効果が表れると思います。今後も、「友達の良いところを見つけられてよかった」と実感できる取り組みをすすめていきます。



人権の授業(6年)

3 「すごしてあんしん」

(1) 危機管理マニュアルの見直しを行い、危機管理体制を整えます。

(2) 5S(整理整頓清潔清掃しつけ)を実行し、明るく清潔な環境にしています。

(3) 安全点検を定期的に行い、安全に配慮した環境整備をします。

今年度は、コロナ禍での学校運営で、どうすれば感染防止ができ、子どもたちの安全・安心につながるのか、日々模索の連続でした。保護者・地域の皆様からもアドバイスや応援をいただき、なんとか一年を過ぎようとしています。本当にありがとうございます。朝の検温・マスク着用・3密回避・手洗い励行・消毒などなど、「白塚小ルーティーン」を作つて取り組んでいます。子どもたちも本当によく耐えがなばってきました。言われるだけでなく、子どもたち自身が、安全・安心を生み出す取り組みも生まれています。

(4) 健康を考えたおいしい給食を提供します。

本校の給食は、調理して栗真小学校へも配送しています。毎日、健康で安全・安心の温かい給食を提供できるよう努力しています。食物アレルギーのお子さんの対応では、保護者と献立について丁寧に話し合って提供するメニューを決めています。毎日、栄養教諭・給食調理員・担任・管理職で確認しあい、間違いなく安心して除去食等の提供ができるよう努めています。また、宗教除去食として、肉除去の対応も行なっています。



コロナ対策係結成(4年)



食教育(1年)

今年度は、コロナ禍により、給食費無償時期があったり、三重県産の魚や肉を無償提供されたりと、大きく対策が取られました。そのおかげで、子どもたちに普段では、献立に出な

いような給食を提供できたり、保護者負担の軽減につながったりしたことは、とてもよかったと思います。また、栄養教諭による食教育の授業では、学年に合わせて食の文化や健康な体に必要な栄養の取り方など楽しく学習を進めています。

(5) 子どもたちに学習規律や行動規律を指導し、規範意識が育つよう努めます。

多くの児童が、「チャイムですばやく行動する」(95%)「約束や決まりを守る」(95%)に肯定的な回答をしています。マスクをしながらの学習や休み時間の過ごし方など、密を回避したり、静かに過ごしたりすることを心掛けてきたことも大きく影響していると思います。

しかし、児童の様子を見ると、荒っぽい言葉遣いをするときがあったり、友だち同士のトラブルがあったりしていますので、今後も、行動規律や規範意識をしっかり指導してまいります。

(6) 一人ひとりが認められ、安心して心を開くことができる人間関係づくりを進めます。

(7) 何でも相談できる教師との関係づくりに努めます。

「困ったことがあったとき、友達や家族、先生たちに相談しますか」の問いに、10%の児童が、「あまりそう思わない」と回答しています。この回答を真摯に受け止め、教員間でも話し合いました。相談しやすい雰囲気はまだまだ足りないのではないかと反省をし、来年度取り組んでいきます。心を開いて相談することは、とても勇気のいることで、安心できる人間関係がなければできません。困りごとや悩みごとを相談できずに一人で抱えている児童が学級に1割いることを念頭に置いて、今後も指導に当たっていきます。

また、保護者アンケートの「学校に相談しやすいか」についても、12%の方が否定的な回答を寄せていますので、学校と保護者の関係を大切に、相談しやすい学校を作っていきます。

(8) 各たよりやHPなどで学校の様子を知らせます。

学校だよりは、月1～2回の発行で、少しでも学校の様子や学校の方針などを理解していただくようにしてきました。学年だよりや保健だより、給食だよりなどは月1回で、諸連絡や様々な情報を掲載しています。また、学校ホームページは、毎日更新しています。毎日の、児童の様子を配信しています。今年度は、コロナ関係のお知らせが多く、保護者の皆様にもよく見ていただけたようで、「学校の様子が分かりやすく伝わっている」の項目は、92%の肯定的回答でした。ありがとうございました。



今日の献立は、「あつあけのそぼろに」「なばなとはくさいのおかかあえ」「いよかん」「むぎめし」「ぎゅうにゅう」です。アレルギー対応は、「魚」「麦」「肉」です。



いよかんは、愛媛県で多く栽培されています。愛媛県が伊予（いよ）の国と呼ばれていたことから、「いよかん」と名づけられました。

4 家庭での様子

(1) 家庭学習について

「宿題や自主勉強などの家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答は、95%でした。学力をつけるためには、学校だけの学習では難しい面があります。やはり、家庭でコツコツと学習することで学力は定着していきます。出された宿題だけをするのではなく、予習や復習等自主的な学習が大きな効果があります。

一身田中学校区では、統一した家庭学習の手引きを配付し子どもたちに指導しています。しかし、現状は宿題をすることだけでも精一杯の児童も多く、中には、家で宿題をせずに、学校に来てからやっているという子も少なからずいますので、ご家庭での声かけをしていただき、まずは宿題だけでも家ですることができるようご協力をよろしくお願いいたします。

（２）メディアとの関わり

保護者アンケートの「テレビ・ゲームなどをする時間を決めているか」の項目は、半数近いご家庭が、「決めていない」と回答されました。ゲームやテレビの時間がきちんと決まっていないと、家族のコミュニケーションや学習する時間が確保できないなどの弊害もあります。また、今年度は、実施されませんでした。例年実施されている全国学力・学習状況調査での、過去の６年生の回答では、全国に比べてスマホやテレビなどにかかる時間がとても多いという結果も出ています。ご家庭で十分に話し合っただき、各家庭に合った時間設定やルール作りをしていただきたいと思います。

また、近年、スマホによる友だち関係のトラブルも増えています。お子さんが、どのようなアプリを使っているのか、また、どんな人と繋がっているのかなど、しっかり確認してほしいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

【保護者・地域からの質問や意見への回答】

・通学団や集団登校を実施してほしい。

→白塚地域は道路が狭く、集団での歩行が返って危険なことや、地域によって児童数が大きく違ったり、区域外登校が増えたりしています。また、近年外国籍児童が増え、文化の違いなどから日本の通学団はなじみません。以上のことから、本校は、通学団登校を実施していません。しかし、安全な登下校を願ひ、波の子会さんと協議をし、ヘルメットの着用を行っていますので、ご理解をよろしくお願ひいたします。

・下校時間をクラスで統一してほしい

→相談して下校するようにいたします。

・各学年だよりもHPに挙げてほしい。

→検討していきます。

・給食の写真をSNS等にアップしてほしい。

→SNSは活用していませんが、HPに毎日の給食の写真を掲載していますので、そちらをご利用ください。

【来年度に向けて】

2学期末に行ったアンケートをもとに、教員で話し合いを持ち、本校の今の状況や、今後取り組まなければならない課題などを分析しました。「整理整頓ができていないと回答する子が多い。学級経営の中で、整頓しやすい環境やグッズを準備することも必要だ。」「言葉遣いが荒っぽい実態もあり、温かい気持ちで接することや安心できるクラスづくりを進めていかなければいけない。」「相談できないで一人で苦しんでいる児童が何人かいることが分かった。これは、昨年度も同じ。子どもが相談できる教師との関係を作らないといけない」「困ったときなど…の項目をわかりやすい文言にかえてはどうか」などの意見が出ました。

今年度は、コロナ禍でもあり、「すごしてあんしん」に力点が置かれた取り組みでした。来年度は、「笑顔あかるく、心あったか、すごして安心」のすべてにおいて、丁寧に子どもたちに関わっていき、より素晴らしい白塚小学校を築いてまいります。

今後とも、学校と家庭と地域が一体となって子どもたちを育てられるよう、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。